

和歌山の～和歌山市・岩出市・紀の川市・海南市～

医療機関情報誌

ご自由におとり下さい

FREE

ご近所ドクター

BOOK

2015. Spring



保存版

安心・頼れる

かかりつけ医を見つけよう

先生の素顔に大接近インタビュー



あなたのご近所の

病院、医院、歯科医院などの先生が登場!!

地域別でスグに探せるエリアマップ付き

ばど

発行●株式会社テレビ和歌山
和歌山市栄谷151



1.広々とした清潔な受付ロビー。様々な病気や健康に関する冊子、パンフレット、各種お知らせなどが揃えられている 2.明るく気さくな受付スタッフ。笑顔での丁寧な対応をモットーとしており、病院の雰囲気を和やかにしている



スタッフからの Message

開設以来掲げられている「誠心誠意」の院提のもとに、親身な治療と心からのケアをスタッフ一同で心がけています

院長を中心にまとまりが良く、チームワークを随所に発揮して患者様の治療とケアに日々頑張っています。明るく朗らかなスタッフが揃っていますので、困った時や疑問が生じた場合はいつでも気軽に声をかけください。当院は職員の教育や研修制度も充実しており、より良い病院づくりに貢献すべく個々のスキルアップにも励んでいます

教えて！先生

大腸の粘膜に炎症や潰瘍ができるという疾患「潰瘍性大腸炎」の治療法について概要を教えてください

Answer

30歳位までの若年層に多い疾患で、腸の免疫機能が働きすぎることが原因と考えられています。当院では充分に問診と診察をした後、内視鏡で疾患の程度を確認します。軽症の場合は飲み薬や座薬での治療、重症と判断した場合は免疫機能を抑える副腎皮質ステロイド薬を用いて治療します

福昭人 先生

【プロフィール】B型/乙女座/和歌山県立医科大学卒、和歌山県立医科大学大学院医学研究科外科学講座卒/和歌山市出身/医学博士、日本外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、等
【趣味】体を動かすのが好きで、スポーツジム通いを日課にしています。週末には13~15kmのランニングも欠かしません。心地よい汗をかいてリフレッシュですね！
【休日の過ごし方】ショッピングや食事に出かけたり、リビングで寛いだり…。家族とのんびり過ごしている時間に幸せを感じますね。5歳の末娘と遊んでいると癒されます

肛門疾患、そけいヘルニアなど短期滞在型手術の啓蒙に注力

消化器 般外科の手術に関しては、年間240~250例の手術実績を挙げている同院。その経験と確固たる実績をベースに、これからの力をいれて取り組むのが、短期滞在型手術の啓蒙だ。「痔核をはじめとする肛門疾患やそけいヘルニア、胆嚢結石といった良性疾患の手術に関しては、当院は1泊2日や日帰りといったごく短期で治療できる技術と体制を整えています。働き盛りの患者様であれば仕事への影響を最小限に留めることができますし、また誰にも知られずに疾患を完治させることも可能です」と福院長。患者さんにとってはまさに良いことづくめだが、和歌山県内においても、このような同病院の取組みをまだ知らない人も多いのだという。「短期滞在型手術に関してはより多くの患者様に当院で治療を受けていただけるよう、今年中に看護師が対応する専門のコールセンターを立ち上げる予定です」。

経験豊富なスタッフが在籍する訪問看護ステーションを設置

日本のがん治療は、手術抗がん剤、放射線治療の三本柱が中心の標準医療と終末期ケアを目的とする緩和医療に大別される。緩和医療は様々な苦痛の除去を目的とした医療行為全般のことであり、がんそのものに対する医療行為ではない。不幸にもがんが再発した患者さんが、標準治療でできることはやり切ったという理由により、医療機関で適切な治療を受けられないケースが増えているのだ。「当院はいわゆる『がん難民』と位置付けられる患者様の心情や希望を真摯に受け止め、いち医療機関として緩和医療を含めできる限りのケアサービスを提供していきたいと考えています」。この取組みにも付随して、今後の強化ポイントとしては、国レベルでの必要性が叫ばれている在宅医療が挙げられると福院長は語る。「当院では訪問看護ステーションを設置しており、現在は近隣にお住まいの15人ほどの

在宅患者様のサポートを担当させていただいています。入院時と同レベルの治療やケアを患者様に提供できるよう、スタッフがチームワークをフルに発揮して頑張ってくれています。また、オンラインワンともいえる質の高い医療を維持できるように、外部評価を重視している点にも注目したい。「平成20年に当院は日本医療機能評価機構に認定され、①日本大腸肛門病学会認定専門医修練施設②日本消化器病学会認定施設③日本消化器内視鏡学会認定指導施設④日本外科学会認定関連施設⑤日本消化器外科学会認定関連施設など、数多くの認定を受けています。福院長は最新の治療の提供やセカンドオピニオンの実施を目指し、和歌山県内だけでなく全国規模の学会や研究会、勉強会などにも積極的に参加している。最後に福院長はこんな言葉でインタビューを締めくくってくれた。「これからも常に上を目指し、患者様に寄り添う医療を追求していきます」。

hospital data

医療法人 福慈会 福外科病院 / TEL:073-445-3101 和歌山県和歌山市和歌浦東3-5-31 <http://www.fukugeka.jp/>

▶医療詳細ページ有り 26P



福昭人 院長



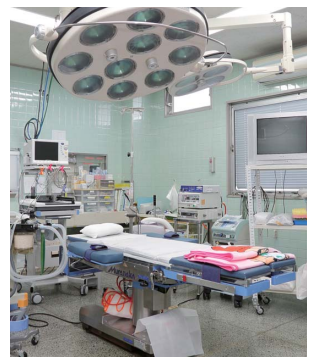
「誠心誠意」を基本理念に地域医療へのさらなる貢献をスタッフ一丸となつて目指す

医療法人 福慈会 福外科病院

●消外・消内・肛外・放・外・内・代内・内分泌内・循内・麻

患者さんの立場に立ったきめ細やかな治療を提供

昭和46年の開院以来「誠心誠意」を基本理念に患者さんの立場に立つたきめ細やかな治療を心がけ、多くの近隣住民に親しまれている福外科病院。院長の福昭人先生は、「患者様と触れ合い、治療を通して笑顔で感謝の言葉をいただけるこの仕事が大好きなんです」と目を細めて語る。毎朝6時には出勤するという福院長の1週間は、実に多忙を極める。月・水曜全日と金曜の午後は外来診察、火曜は終日にわたり手術、木曜は内視鏡検査と外来手術、土曜日は手術の説明、そして合間をみて院内だけでなく敷地内にある「住宅型有料老人ホーム 福の里」の回診も行っているというのだから、その働きぶりには感服せざるを得ない。続けて福院長は力強い眼差しでこう語る。「ここ半年くらい前からでしょうか。各部署の長がしっかりとスタッフを取りまとめてくれるので、それまで私が受け持っていた様々な仕事を安心して任せられるようになりました。組織として着実に成長できていることを誇りに思いますし、より良い病院を目指し今後も「丸」となって精進したいと張り切っています」。



手術室。消化器疾患を中心に開院以来11,419例(平成26年3月末まで)の手術を行っている



昭和46年に開設して以来「協調の精神」に基づきチーム医療の提供を目指しています。

消外・消内・肛外・放外・内代内・内分泌内・循内・麻(担当医・福幸吉/福昭人)

医療法人 福慈会 福外科病院

インタビューページあり

☎073-445-3101
http://www.fukugeka.jp/

所在地 和歌山市和歌浦東3-5-31
交通 南海本線「和歌山市駅」9.10番/「大東の場乗車場」下車、JR「和歌山駅」2番/「大東の場乗車場」下車、無料駐車場39台分用意
院長 福昭人(経歴:和歌山県立医科大学卒、和歌山県立医科大学大学院医学研究科外科学講座卒、医学博士、日本外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医等)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○	—
曜日より変更	※1	※2	※1	※2	※3	—	—	—
※1	月水15:00~17:00		※2		火木14:00~17:00		※3	
※3	金13:30~17:00							



内視鏡検査などを用いた消化器疾患の治療に注力 日帰りをはじめとする短期滞在手術にも力を入れています

加えて「住宅型有料老人ホーム 福の里」、「デイサービス 福慈会」といった介護福祉施設の運営も手がけています。当院は患者様が医療の中心であることを念頭に、個人の知る権利、決定する権利を尊重し、プライバシーの保護にも努力します。



明るい雰囲気づくりを心がけている受付ロビー。医療や健康にまつわる資料や冊子なども設置しています。

各種人間ドックの検診も行っており、基本検査や選択検査など患者様の要望や必要に応じた検査が可能です。予防接種に関してもインフルエンザ、肺炎球菌ワクチンなどを行っています。

また、ポリプ切除、痔核、せけいヘルニア、腹腔鏡下胆嚢摘出などの良性疾患手術に関しては、短期滞在型手術に力を入れており、疾患の具合や内容によっては日帰り手術も可能です。

主な治療内容としては、消化器科では内視鏡を用いた治療、肝炎のインターフェロン、肝臓がんの局所治療など多岐にわたる治療を行っています。内科では、消化器疾患以外に高血圧や高脂血症、糖尿病などの生活習慣病、呼吸器疾患、腎臓疾患などの急性期、慢性期疾患の治療、および管理栄養士による食事指導などを行っています。

消化器外科専門の病院として昭和46年8月に開設されて以来、当院は「誠心誠意」をモットーとし、患者様の不安を軽減することに努め、心のこもった良質な医療を提供できる病院を目指しています。

外来診療は基本的には総合診療であり、ほぼ当院全科において診察を行っています。専門分野である消化器疾患(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門、肝臓、膵臓、胆嚢、脾臓)などに発生する疾患に関しては治療だけでなく、予防を含めた生活習慣の指導やアドバイスのも行っています。

内視鏡システムでがんをはじめ様々な手術に対応

内視鏡ビデオスコープシステムを用いた手術に対応しています。粘膜の微細な血管や模様を強調してより詳しく見るための「狭帯域光観察(NBI)」技術により、早期発見・早期治療の実現を目指しています。



最大16枚の画像が一度で撮影できるマルチスライスCT

高精細な画像で、より確かな画像診断を目指すマルチスライスCTを設置。1回転につき最大16枚の画像を一度に撮影することができます。複数箇所を一度に撮影しますので、検査時間の短縮を図れます。



様々なケアを提供する訪問看護ステーションを設置しています

自宅、居宅または居宅系施設で療養中の患者様が利用できる訪問看護ステーションを設置しています。年齢や性別国籍に関係なく、訪問看護を必要とする全ての患者様が対象です。



高精度の画像診断をするためのMRI。様々な疾患・脳ドック検査などに用いられています。



当院と同じ敷地内にある「住宅型有料老人ホーム 福の里」。細やかなサポートを心がけています。